

No	感染症(PT)	出典	概要
275	ブドウ球菌感染	Ann Clin Microbiol Antimicrob 2006; 5(26): 1-4	オランダで養豚農家の家族3名、従業員3名および検査したブタ10頭中8頭がMRSA陽性であった。分離されたMRSAはMLST ST398であり、以前フランスのブタおよび養豚農家から分離されているものと同じ型であった。ヒトとブタ間のMRSA伝播が明らかになったが、地域的な問題が新規のMRSA源かを評価するための研究が必要である。
276	ブドウ球菌感染	Ned Tijdschr Geneesk 2006; 150: 2442-2447	腎移植を受けた63歳の女性がメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)による心内膜炎で入院した。分離された菌は、最近オランダのブタから高い割合で分離されたMRSA株であるシーケンズ型398であった。この論文はブタMRSAによる重篤な感染についての最初の報告である。オランダ感染防止作業部会はこの株の拡大を防ぐため、リスク集団(養豚業者、食肉処理場従業員、獣医)が入院する場合にはMRSA保菌者でないことが確定するまでは隔離すべきであると、ガイドラインの修正を行った。
277	ブドウ球菌感染	Vet Microbiol 2007; 122: 384-386	後ろ向き研究により、デンマークのブタでメチシリン耐性および感受性のStaphylococcus aureus ST398が初めて検出された。検査した100頭の内10頭で鼻腔にST398が検出され、3つの養豚場の内2つが陽性であった。10のST398分離株の内9株がspaタイプt034、1株がt1793で、ペニシリンに加え、エリスロマイシン、クリンダマイシンおよびテトラサイクリンに抵抗性であった。ヨーロッパのブタでこの新しい人畜共通細菌が急速に拡大していることが示唆された。
278	ブルセラ症	ProMED-mail20070522.1632	米国Montanaの雌牛7頭が検査でブルセラ症陽性であった。もし近くの別の群れで少なくとも2頭の雌牛が来週に検査陽性となると、Montanaはブルセラ症-freeの地位を喪失することになる。
279	ブルセラ症	ProMED-mail20070806.2553	香港Tsuen Wanの56才男性と54才の妻がブルセラ症に感染したことをCenter for Health Protectionが確認した。この男性は2007年5月に発症し、2度入院したが、現在は安定した状態である。彼の妻は同様の症状で2007年7月13日に入院し、18日に退院した。2人は2007年4月にGuangzhouに旅行した。ブルセラ症は2006年に計3例および2005年に1例報告されている。
280	ブルセラ症	J Travel Med 2007; 14: 343-345	64歳の日本人男性が6週間続く発熱で1998年6月2日に都内の病院に入院した。入院時の血液培養からグラム陰性桿菌が検出され、Brucella melitensis 2型と同定された。患者は同年3月にイラクに滞在し、ヒツジのチーズを摂取したことが明らかとなった。患者の妻(60歳)が同年5月31日から発症し、Brucella melitensisが血液と関節液の培養で検出された。イラクの帰国者からその妻へ、ブルセラ症が性感染した可能性がある。
281	ペスト	CDC/MMWR 2006; 55(34): 940-943	2006年に、米国4州(New Mexico, Colorado, California, Texas)の住民においてペスト症例が13例報告されている。5例は敗血性ペスト、残り8例は腺ペストであった。2例の患者は2次性肺ペストを呈した。1994年以降米国において1年で報告された最も多い症例数である。
282	ペスト	The UB Post-Leading English News 2007年8月8日	モンゴルKhovsgol aimagで14才の男児が2007年8月2日に死亡し、その後腺ペスト感染であると確認されたことを受け、Tsetserlegの当局はこの男児と接触していた79人を検疫下においた。Yersinia pestisは男児が捕まえたマーモット由来であると考えられている。男児がマーモットの皮膚を取り除く際、指が傷ついていた。マーモットの死体から腺ペスト菌が検出された。
283	ペスト	Wkly Epidemiol Rec 2006; 81: 397-398	2006年10月13日にWHOはコンゴ共和国の2つの保健地区における肺ペストのアウトブレイク疑いに関する報告書を受け取った。7月31日から10月8日の間に死亡42例を含む626例の疑い例が報告された。迅速診断試験による予備的結果では8検体中3例が陽性であった。更なる確定検査が行われている。
284	ボツリヌス中毒	Eurosurveillance 2006; 11(12): E061214	2006年7月3日、オーストリア北部の公衆衛生局は入院患者4名がボツリヌス中毒症の可能性があるとの報告を地方病院から受け、5番目の患者も他の病院に入院したため、アウトブレイクに関する調査を開始した。調査の結果、6月25日に行われたバーベキューパーティーと関連があった。全員が自家屠殺の豚肉を食べていた。マウス中和試験によって一部の患者では毒素の存在が確認されたが、患者の大便および冷凍保されていた豚肉からはClostridium botulinumは検出できなかった。
285	マラリア	ABC Newsletter 2007年7月6日	FDAは、初めて認証された米国のマラリア用迅速テスト、Binax NOWマラリア検査の使用を許可した。同検査は、非常に迅速で使用が簡便で、全血検体をディップスティックに2、3滴つけて15分後には結果が得られる。検査結果の確定には標準的顕微鏡検査法を用いなければならない。米国外のマラリア流行地域で行った多施設試験において、標準的顕微鏡診断と比較して当該検査の正確度は95%であった。